

(法第28条第1項関係様式例)

平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ

主たる事務所の所在地 長野県北佐久郡軽井沢町大字発地1157-6

代表者氏名 理事長 長岡 秀秋

電話番号 0267-44-6680

1 事業の成果

『地域スポーツ事業部』では、軽井沢町において健康増進や生涯スポーツ推進、体育施設の管理や指導などに携わってまいりました。

軽井沢勤労者体育センターの指定管理業務においては、平成23年4月より軽井沢町開発公社とのジョイント・ベンチャーである『風越コ・オペレーション』にて公園全体の管理運営をおこなっております。施設管理に自主プログラムの立案や運営を組み合わせることで施設利用者を増やし、地域における社会福祉の充実に寄与しております。また、ジョイント・ベンチャーの強みを生かした運営体制の構築や平成25年4月にオープンが予定されている新しいカーリング施設および屋外スケートリンクの指定管理業務獲得に向けた対策について、両団体にて協議を重ねております。

当クラブが直営するフィットネスジム『アイアンスタジオ』では、民間企業が実証実験のために建設した近隣のカーリング施設の運営を新たに請け負いました。今までオフシーズンであった夏場を中心に利用を促進。また自主プログラムを実施することでカーリング愛好家の裾野拡大に寄与いたしました。

スポーツを活用し集客活性をはかる『集客交流事業』では、軽井沢町・軽井沢体協カーリング部・当クラブが一体となった「軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会」にて、新しく生まれ変わった『軽井沢カーリングクラブ』の発足を後押し、またカーリングを活用した観光活性化事業にも着手し、観光プロモーション用のDVDを製作するとともに、都心での街頭広報活動を実施いたしました。

震災の影響で開催も危ぶまれました『グランフォンド軽井沢』では前回に比べ倍増の約1,000名のサイクリストがエントリー。自転車の愛好家達が思い思いに新緑の軽井沢を楽しみました。

秋におこなわれた『軽井沢リゾートマラソン』では、競技運営やボランティアスタッフの募集・管理などを中心に業務を受託。600名ものボランティアスタッフにも支えられ、前大会を上回る約5,000名が参加いたしました。そのうち2,000名を越えるかたが町内に宿泊。地域の集客活性に寄与いたしました。

なお、その他の継続事業の詳細につきましては、以下の活動実績をご参照いただきたいと思います。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲及び人数(人)	支出額(千円)
地域スポーツ事業	各種スポーツ教室開催、フィットネススタジオ運営、体育施設指定管理業務、指導者派遣業務	不定期	各会場	5	地域住民	15,672
集客交流事業	自転車イベント「グランフォンド軽井沢」企画運営 「軽井沢リゾートマラソン」受託 「軽井沢国際カーリング選手権」受託など	不定期	各会場	3	地域住民を含む一般利用者	28,410
その他の事業	「軽井沢ラフティングアウト」事務局 カーリングナショナルレゼン専任マネージャー派遣	不定期	-	2	一般利用者 カーリング競技者	2,034

※個別事業の詳しい内容につきましては別紙（総会議案書）をご参照ください。

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲及び人数(人)	支出額(千円)
物販事業	グッズ販売	不定期	各会場	1	-	1,230

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業報告書をそれぞれ別葉として作成する。
- 3 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 4 2の(1)については、事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 5 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 6 2の(2)については、事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。